

受付・活動場所（環境学習フィールド3）までのアクセスマップ

- ※駐車場は、生井桜づつみ堤防上駐車場をご利用ください。
- ※環境保全の一環として、自動車はできるだけ相乗りによる参加をお願いします。
- ※汚れてもよい服装（肌を守るため長袖・長ズボン）と長靴で、軍手をご持参ください。



【受付・活動場所】
環境学習フィールド3

【重要】コウノトリ観察マナーの徹底にご協力ください。



2020年5月に渡良瀬遊水地で誕生した「わたる」（オス）と「ゆう」（メス）

コウノトリが安心して暮らせるよう皆さまのご協力をお願いします。

- コウノトリの観察や撮影は堤防上からなど、150m以上離れた場所から行ってください。ただし、繁殖期間中は堤防上から観察してください。
- 大変危険ですので、路肩や路上など通行の妨げとなる場所へは駐車車しないでください。
- 渡良瀬遊水地第2調節池の小山地域では、「渡良瀬遊水地の保全と再生及び賢明な活用に関する条例」によりドローンやラジコン等無人航空機の飛行が禁止されています。

渡良瀬遊水地コウノトリ交流館
(TEL : 0280-51-4593)



古民家を改修し、2020年5月に開館しました。大型タッチパネルによる渡良瀬遊水地の情報発信やコウノトリ「歌」のはく製展示を行っている他、不定期で企画展や自然体験講座等を開催しています。休憩所としてもご利用いただけますので、お気軽にお立ち寄りください。

- 住所 小山市下生井865-1
- 開館時間 4~9月：9:30~17:00
10~3月：9:30~16:00
- 休館日 月（祝日を除く）、祝日の翌日（土日・祝日を除く）、年末年始（12/29~1/3）

2019年3月に渡良瀬遊水地の生井桜づつみを経由し、栃木市南部桜づつみ公園まで乗り入れるコミュニティバス「渡良瀬ライン」が運行開始しました。

どうして「ヤナギ」や「セイタカアワダチソウ」を抜き取るの？

●セイタカアワダチソウ



北アメリカ原産のキク科の外来植物です。日本には観賞用、蜜源植物として明治30（1897）年頃に導入されましたが、現在は雑草化し全国で見られます。繁殖力が強く、根から化学物質（毒素）を出し、他の植物の生育や種子の発芽を妨げます。遊水地内にも急速に侵入しており、絶滅危惧種を含む在来植物を駆逐してしまうおそれがあるため、徹底的に除去する必要があります。

●ヤナギ



渡良瀬遊水地内に生育しているヤナギは外来種ではありませんが、ヤナギの実生が密生して優占すると、絶滅危惧種を含む在来植物の発芽と生育が妨げられるため、除去する必要があります。特に、環境学習フィールド等の掘削池では、掘削後の裸地に、ヤナギの種子が飛散・発芽し、実生が密生してしまうため、重点的に抜き取り（大きいものは剪定ばさみ等で刈り取り）を行っています。